

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス リアン				公表日	令和 8年 2月 25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		学習室、活動室、面談・静養室、支援室があり、学習室で活動できない児童については面談室で個別で行ったり、周りが気になる児童にはパーテーションを使用し対応している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>		築年数の古さや構造上、完全張りやフリー化は難しい状況。今のところ不便の訴えはないが、必要があれば意見をもとに改善できるところは改修していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		滞りの会前に担当場所を決め、全員で掃除を行っている。また、活動室・学習室・支援室・面談室と状況に合わせた空間を使い分けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		同じ空間で過ごすことが苦手な児童に対しては、自己選択により他者と違う空間での活動を支援している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員に児童受け持ち制を定め、担当児童の評価考察を行ったうえで、児童発達支援管理責任者に報告を行い、計画に反映させている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			意見があればできる限り反映するように心がけている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		意見があればいつでも話せる環境は作っている。また、朝礼時に何かないか聞く機会を毎回作っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		現在第三者による外部評価は行っていないが、今後必要に応じて外部評価も検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		療育に関する研修の案内があればできる限り受講できるようにしている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		5領域の評価をし、それを保護者などに話したうえで計画を提案し、理解・納得したうえで作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		担当職員に5領域評価をしてもらい、話し合ったうえで計画している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		5領域アセスメントツールを作成し、評価している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>				

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		児童個々に必要なスキル、苦手分野に合わせた支援プログラムを毎日固定化しないように作成し、個別から小集団で支援している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			できる日もあればできない日もあったため、自発管不在時でも今後は毎日行っていくことを決定した。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	○		送迎や支援時間・就業時間の関係上、当日振り返りが困難な場合が多いが、翌日の朝礼時に必ず振り返りを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			プログラムについては児童自身が決めてしまうと遊びが多くなってしまったため、職員が児童に合ったもの考えて設定しており自己決定権はあまりない状況。今後、施設外活動を選択制にするなど工夫していきたい。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		問題の事例となることなどがあれば関係機関とのケース会議などで連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時の情報共有はもちろんのこと、気になることがあれば電話連絡や学校へ行き話し合う機会を作ったりしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	○		就学前に通所児童のこども園等との情報共有に機会があまりないため、連絡を取り情報共有の機会を作っていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			今回初めて卒業業者が出るため、これから情報提供を行っていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		地域にセンターとされる拠点は無いが、基幹センターの主催する研修会などには毎回参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○		子ども食堂や図書館での映画上映会などに参加しているが、他の機会があまりないため今後は増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○	希望者による個別の相談会（ペアトレ）を今年も夏に行った。	家族研修会を今後年度初めなどに設定し毎年確実に開催できる機会を設定していく。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があればその都度対応をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		今年度から兄弟も参加できるバーベキューやグランドゴルフ大会を行った。	保護者だけの交流の機会を今年度は設けられなかったため、今後は実施していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所入り口靴箱に意見書・意見箱を設置している。また、苦情があった際は苦情報告書記入に加え、会議を開催し今後の体制について検討している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		活動予定などについてはお便り、活動報告はインスタグラムを活用し報告を行っている。また、2月からホームページのリニューアルを行った。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		写真掲載時は顔にスタンプをするなどして対応している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お帳面による活動報告や、気になることは電話・ラインでその都度連絡している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域住民を招待するような活動は行っていない。利用児童の特性に配慮しながらできる活動を今後は開催していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		利用契約時にマニュアルを作成している旨を伝え、見たい場合はいつでも言っただけと伝えている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用開始前の契約時に情報を把握し、確認している。自発管が重症児施設に勤務していた看護師であり、てんかん時の対応もできる。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーについても利用契約時に情報を取り、職員にも報告をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		マニュアルを基準とした社内研修や、年2回の避難訓練など実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		小さなこどもでもヒヤリハットの記載をしてもらい、報告書を回覧で回している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修に行った職員に研修内容を基に、社内研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				